

(株)山川出版社

令和4年度用「歴史総合」

教科書ご説明資料

山川出版社HP  
＼歴史総合特設サイト／



山川出版社

3つのスタイル

山川出版社は、様々な授業スタイルを想定した  
3種の教科書をご用意しました。



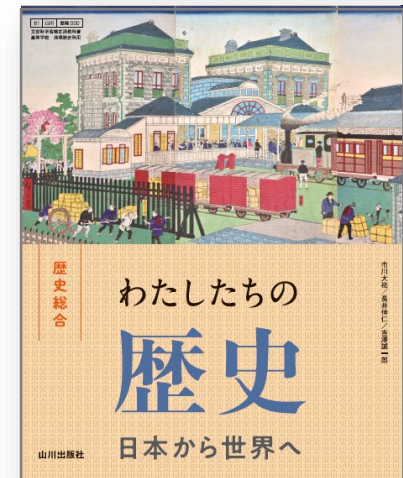
『歴史総合』

近代から現代へ



『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える



『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

## プログラム

- ①新科目**歴史総合**とは
- ②**教科書3種**の違い
- ③各教科書の特徴
  - A.『歴史総合 近代から現代へ』
  - B.『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』
  - C.『わたしたちの歴史 日本から世界へ』
- ④**指導書**のご案内
- ⑤**教材**のご案内



# ① 新科目 歴史総合とは

## 歴史総合

- ◆ 日本史と世界史の関連性を重視し、グローバルな視点を養う
- ◆ 主に近代・現代史を扱い、現代社会のあり方や諸課題について考える観点を養う

① 新科目 歴史総合とは

歴史総合 各部の学習の流れ

- 第1部「近代化と私たち」 ●第2部「国際秩序の変化や大衆化と私たち」 ●第3部「グローバル化と私たち」

① 資料をもとに問いを立てる

部のはじめ



② 本文で歴史の流れを学ぶ

本文



③ 現代の諸課題と向き合う

部のまとめ

② 3種の違い

各教科書のコンセプト・スペック

『歴史総合』

近代から現代へ

探究につながる

詳しい記述



『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

深める歴史

テーマ・資料・問いで考える



44テーマ

『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

見開き47テーマ

ビジュアルで楽しく学ぶ



47テーマ

- ◆B5判 254頁 ●写真283点
- 地図73点 ●グラフ・図表112点
- 文字資料55点 ●2次元コード19点

- ◆AB判 262頁 ●写真555点
- 地図112点 ●グラフ・図表178点
- 文字資料177点 ●2次元コード16点

- ◆AB判 182頁 ●写真301点
- 地図87点 ●グラフ・図表100点
- 文字資料54点 ●2次元コード10点

# ② 3種の違い

# 各教科書の本文イメージ

## 『歴史総合』

近代から現代へ

## 『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

## 『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

**5** 第一次世界大戦と大衆社会

**1** 第一次世界大戦とロシア革命

第一次世界大戦は、なぜ起こり、最終的に国際情勢をどう変えてきたのかを学ぶ。また、この戦争が、世にどのような影響を与えてきたのかを学ぶ。

1914年6月、オーストリアの皇太子がセルビアの若者によって暗殺された。この事件は、ヨーロッパ各国に連鎖的な影響を与え、最終的に第一次世界大戦を引き起こした。戦争は、ヨーロッパ各国を巻き込み、世界中に波及した。戦争の結果、ヨーロッパの勢力圏は大きく変化した。また、ロシアでは革命が起こり、世界に大きな影響を与えた。

第一次世界大戦は、ヨーロッパ各国を巻き込み、世界中に波及した。戦争の結果、ヨーロッパの勢力圏は大きく変化した。また、ロシアでは革命が起こり、世界に大きな影響を与えた。

第一次世界大戦は、ヨーロッパ各国を巻き込み、世界中に波及した。戦争の結果、ヨーロッパの勢力圏は大きく変化した。また、ロシアでは革命が起こり、世界に大きな影響を与えた。

**18世紀の東アジアにおける社会と経済**

18世紀の東アジアでは、商品生産と流通はどのように進化したのだろうか？

18世紀の東アジアは、商品生産と流通の面で大きな変化を遂げた。この変化は、東アジアの社会と経済に大きな影響を与えた。この変化は、東アジアの社会と経済に大きな影響を与えた。

18世紀の東アジアは、商品生産と流通の面で大きな変化を遂げた。この変化は、東アジアの社会と経済に大きな影響を与えた。この変化は、東アジアの社会と経済に大きな影響を与えた。

18世紀の東アジアは、商品生産と流通の面で大きな変化を遂げた。この変化は、東アジアの社会と経済に大きな影響を与えた。この変化は、東アジアの社会と経済に大きな影響を与えた。

**18世紀の世界とアジア**

18世紀の世界とアジアは、経済や文化が変化した。こうした変化は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

18世紀の世界とアジアは、経済や文化が変化した。こうした変化は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

18世紀の世界とアジアは、経済や文化が変化した。こうした変化は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

18世紀の世界とアジアは、経済や文化が変化した。こうした変化は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

# 論理的な記述

# 1テーマ4~6頁

# 1テーマ2頁

# 歴史総合

## ③各教科書の特徴

A.『歴史総合 近代から現代へ』

B.『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』

C.『わたしたちの歴史 日本から世界へ』



## A. 『歴史総合』

近代から現代へ

歴総707



◆B5判 254頁 ●写真283点

●地図73点 ●グラフ・図表112点

●文字資料55点 ●2次元コード19点

『歴史総合』近代から現代へ

# 探究につながる詳しい記述

## ① 歴史の流れを詳述、信頼できる内容

- ・全体を**時系列的**に取り扱い
- ・**因果関係**が理解しやすい論理的な記述

## ② 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識

- ・日本史分野、世界史分野の**バランスを配慮**
- ・各地域世界ごとの**風土や歴史**について、見開きで簡潔に説明

## ③ 歴史の着眼点となる問いかけを設定

- ・節の冒頭や本文の途中に**考察を促す問い**を設定

# A. 『歴史総合』

近代から現代へ

## 巻頭資料

### 諸地域世界の形成

「東アジア」「南アジア・東南アジア」「西アジア」「ヨーロッパ」の風土や近世・近代以前の地域概観について見開きで完結に説明

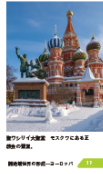
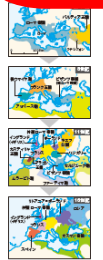


#### ヨーロッパの歴史

ヨーロッパはローマ帝国の隆盛と衰退の歴史である。中央の政治はローマ帝国の崩壊後、多量の土地が封建領に分割された。...



東洋の歴史 東洋は古代から多様な文化を育み、近世には欧米列強との接触を経て近代化の道を進んだ。...



## 目次

### 時系列的な取り扱い

全体を時系列的に取り扱い、歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすい論理的な記述

目次 (Table of Contents) listing chapters such as '近代化と私たち' (Modernization and Us), '結びつく世界' (A Connected World), and '近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立' (The Formation of Modern Europe and America).

目次 (Table of Contents) listing chapters such as '国際秩序の変化や大衆化と私たち' (Changes in International Order, Massification, and Us), '第一次世界大戦と大衆社会' (World War I and Mass Society), and '戦後の国際秩序と日本の改革' (Post-war International Order and Japanese Reforms).

目次 (Table of Contents) listing chapters such as 'グローバル化と私たち' (Globalization and Us), '冷戦と世界経済' (Cold War and World Economy), and '現代の課題' (Modern Challenges).

内容解説資料 p.4~6参照

# A. 『歴史総合』

近代から現代へ

## 部のはじめ

# 〇〇化への問い



### 近代化への問い

1～6よりテーマを選び、資料をもとに近代化にともなう人々の生活や社会の変容について考え、疑問に思う点などをまとめて、問いを表現してみよう。

## 1 交通と貿易

イギリスの鉄道路線 (谷川穂波が「近代ヨーロッパの情熱と苦悩」より作成)

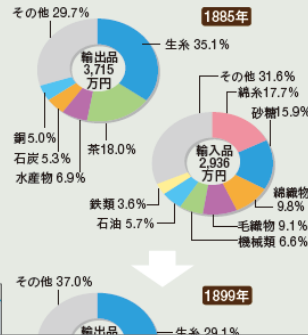


①近代化は交通手段の革新をともなった。Aは、1872(明治5)年にイギリスを訪れた岩倉使節団の見聞である。また、Bは、1836年と1852年のイギリスにおける鉄道路線を示した地図である。これらから何を考えることができるだろうか。鉄道の敷設距離の推移、工業化と鉄道の関係などに注目して、問いを表現してみよう。

### A 岩倉使節団の見聞

ヨーロッパの農業・工業・商業の3つが今日のように盛んになったのはこのようにわずかの間のことであったことをわれわれは知った。いまの欧州と40年前の欧州と、状況がどれほど異なったかということ想像してみしてほしい。40年前には、陸を走る汽車もなく、海を行く汽船もなく、電線が通信を運ぶこともなかった。運河で小舟を曳き、海上で帆船を操り、道には馬車が走り、駅馬を走らせて通信を運び、兵士は鋼の大砲やフリント銃を使って数十歩の近距離を隔てて戦った。…… (久米邦武「米欧回覧実記」、現代語訳)

②交通手段の革新は世界各地を貿易で結びつけた。Cは、1885(明治18)年と1899(明治32)年の日本における品目別の輸出入の割合である。Dは、1885年に設立された日本郵船会社が、1896(明治29)年までに開設したおな定期航路を示した地図である。これらから何を考えることができるだろうか。輸出入の総額や品目の変化、航路と輸出入品目の関係などに注目して、問いを表現してみよう。



# 「近代化への問い」 「国際秩序の変化や大衆化への問い」 「グローバル化への問い」

## 問いのきっかけとなる諸資料の一例を紹介

内容解説資料  
p.8参照

# A.『歴史総合』

近代から現代へ

## 第5章

### 第一次世界大戦と大衆社会

#### 1 第一次世界大戦とロシア革命

第一次世界大戦は、なぜおこり、各国の社会や国際秩序にどのような変化をもたらしたのだろうか。また、この戦争が、史上初の総力戦と呼ばれるのはなぜだろうか。

##### バルカン半島での対立

20世紀初頭、列強の二極化が進み、協商国と同盟国の対立が深まった。対立の焦点

になったのは、新たに独立した国々が領土をめぐるにらみあい、列強も介入の野心をもつバルカン半島で、その状況から「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた。とりわけロシアは、日露戦争の敗北によって再びバルカン半島に目を向け、オーストリアもまたバルカン半島での影響力を広げようとしていた。1908年、青年トルコ革命によるオスマン帝国の混乱に乗じて、オーストリアはベルリン会議で行政権を得ていたボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合した。セルビアはこれに強く反発し、同じ正教国として関係の深いロシアに支援を求めた。

1912年、ロシアはセルビアやブルガリアなどのバルカン諸国に働きかけ、反オーストリアのバルカン同盟をつくり、オスマン帝国と戦って勝利した(第1次バルカン戦争)。しかし翌年、獲得した領土の分配をめって同盟諸国間での戦争(第2次バルカン戦争)が生じると、敗北して多くの領土を失ったブルガリアはドイツ・オーストリアに接近した。

##### 第一次世界大戦の開戦

1914年6月、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの中心都市サラエヴォで、オーストリアの

帝位継承者夫妻がセルビア人により暗殺された。これをきっかけに



「ヨーロッパの火薬庫」。いまにも吹きこぼれそうな大釜には「バルカン問題」と書かれており、おさえ込もうとする列強の姿を暗示している。

バルカン半島は、なぜ「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれたのだろうか。

①スラヴ人の多いセルビアは、同じく多くのスラヴ人が暮らすボスニア・ヘルツェゴヴィナの編入を望んでいた。

②サラエヴォを訪れたオーストリア皇太子とその随員が、セルビア人の学生に暗殺された。

## 本文

学習の目的を明確にする  
導入部の「問い」

考察を促し  
知識を習得

思考

判断

表現

本文を読む際の  
着眼点となる「問い」



内容解説資料  
p.9~14参照

# A. 『歴史総合』

近代から現代へ



## 本文



第一次世界大戦中のヨーロッパ



塹壕戦、塹壕から敵陣に対して射出することで、塹壕に立てこもる兵士の疲労や呼吸器などに深い被害を与えた。写真はロシア軍が使用した塹壕。



塹壕戦 塹壕を掘るために地中に潜った兵士の塹壕である。高さが高くなると足場はぬかるみになるなど、兵士にとっては死地同様の場所であった。

Q 第一次世界大戦は、従来の戦争と異なり、なぜ長期化したのだろうか。

機銃で相手の攻撃を阻止する塹壕戦となり、膠着状態が続いた。状況を打破するために、毒ガス・戦車・飛行機といった新兵器の開発・投入が行われた。一方、東部戦線ではドイツ軍はロシア領ポーランドに侵入したが、決定的な打撃を与えることはできなかった。こうしてドイツは2つの戦線と同時に戦うこととなった。

戦争は同盟国と協約国(連合国)陣にわかれて戦われた。オスマン帝国も同盟国陣に加盟した。オーストリアと対立するイタリアは三国同盟にもかかわらず当初は中立であったが、1915年に連合国陣で参戦した。同年にはブルガリアが同盟国陣に加わった。

総力戦 従来の戦争は、通常は短期戦であり、前線付近を除いては日常生活も平時の状態を維持した。それに対して、第一次世界大戦は長期戦となり、かつ日常生活を大きく巻き込む史上初の総力戦となった。長期化の原因は、第2次産業革命による産業の高度な発達にあった。各国がその産業力を最大限に発揮したことで、戦争継続能力が著しく高まったのである。

産業を新設員するために、後方と呼ばれる前線以外の場所での日常生活も、国家により再編された。従来の自由放任的な経済政策にかわり、政府が経済活動を統制し、原料の配分や発注をおこない、労働市場も管理した。食料や生活必需品の価格統制や配給制も導入された。また、各国で労働者政党を含む議院政党が、自国政府の戦争遂行を支持する姿勢を示し、軍国一致体制がしかれた。このため第2インターナショナルは



西アフリカの強制労働者。とくにフランス軍で大規模に動員された。



女性の社会進出の拡大。それまで女性が従事していなかった分野でも、人手不足により女性が採用されるようになった。写真はイギリスの女性製薬工場の作業員(労働中の軍人と話している)。(P106)

事実上崩壊した。植民地の人々も大規模に動員され、兵士や労働力とされた。一方、男性が出征して発生した人手不足を埋めるために、女性が工場労働者・電線交換手・トラック運転手・警官などの職について活躍した。

日本の参戦 第一次世界大戦が始まると、イギリスは日本に対して軍事的な協力を要請してきた。第2次大戦前夜、日本の加藤高明外務大臣は、これを中国における日本の権益をさらに確実なものにする好機ととらえた。日本は1914(大正3)年8月に、加藤外務大臣が山東省青島を占領する権益論をおし切ったことで参戦した。日本は10月にドイツ領南洋群島を占領し、11月には山東省青島のドイツ軍を破ってドイツの東アジア植民地を奪った。1917(大正6)年にはイギリスの要請を受け、地中海に軍艦を派遣した。

二十一カ条の要求 1915(大正4)年1月、日本政府は中華民國に対し、中国における日本の権益の確保と拡張を求めた。二十一カ条の要求(第1号)は、山東省のドイツ権益の継承(第1号)、獨逸の租借期限の89年延長(第2号)、漢冶萍公司(鋼鐵所と鞍山を運営する会社)の日中共同経営(第3号)、中国沿岸地方の第三回への不割譲(第4号)に加え、中国政府への日本人雇員の雇用などの中国の主権を侵害するような内容の希望事項(第5号)が



本文は、日本と世界のつながりを意識した、因果関係のわかりやすい論理的な記述

2次元コードは「文字資料」「NHK for School」へリンク

内容解説資料 p.9~14参照

# A. 『歴史総合』 近代から現代へ



## 部のまとめ

### 〇〇化と現代的な諸課題

- 「近代化と現代的な諸課題」
- 「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」
- 「現代的な諸課題の形成と展望」

課題に取り組むきっかけとなる  
諸資料を提示

#### 近代化と現代的な諸課題 開発・保全

産業革命の進展は、様々な公害を引きおこし、その対策は政治・社会問題にもなった。栃木県の足尾銅山でおこった公害事件を、「開発」と「保全」の視点から考えてみよう。

幕末に廃鉱同然だった足尾銅山は、実業家古河市兵衛の経営のもとで近代的な開発が進んだ。国内外の大量の電線需要などを背景に銅の生産は急増し、古河の経営手法は高く評価された。一方で、1890(明治23)年頃から洪水にともなう公害が発生し、栃木県選出の衆議院議員田中正造は議会で政府に対策を求めた。

1897年から被害地の住民は上京して陳情活動を始めた。しかし、政府が足尾銅山の操業を停止させることはなかった。田中正造が議員を辞職して明治天皇へ直訴を試みるなど、社会的関心が高まるなかで、1903(明治36)年から政府は新たな対策を計画して進めていった。



▲足尾銅山と被害地関係図

④第4回内国勲業博覧会(1895年)における古河市兵衛の受賞理由  
鋭意鉱業全般の改良進歩を図り、率先して電力の応用を極め、又奮てベスマル製銅の業を起し、産額年を遂うて著しく増加し、殆んど全国産額の3分の1を占め、販路遠く海外に及ぶ。  
(五日会「古河市兵衛翁伝」)

●イギリス人ベッセマーの製鋼法を応用した製鋼法。

#### ④田中正造の活動と政府の対策

- 1896年 渡良瀬川大洪水。流域一帯の農作物や家畜に大きな被害。
- 1897年 政府、内閣に第1次鉱毒調査委員会設置。足尾銅山に鉱毒予防工事を命令。
- 1900年 陳情を試みる被害民と警官隊の衝突事件(川俣事件)。
- 1901年 田中正造、議員辞職。明治天皇に直訴を試みるも失敗。
- 1902年 政府、内閣に第2次鉱毒調査委員会を設置。

発問1 足尾銅山の開発はどのように進展し、またそれはどのような公害を生み出したのだろうか。資料A～Cから読みとって説明してみよう。

発問2 政府は、公害問題に対してどのような対策を進めたのだろうか。資料A・Cから読み取って説明してみよう。

発問3 「開発」の視点で考えると、足尾銅山は日本の近代化にどのように貢献したのだろうか。また、「保全」の視点で考えると、政府の公害対策はどのような点で限界があったのだろうか。それぞれの視点を、資料A～Cを

B.『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

歴総708



- ◆AB判 262頁 ●写真555点
- 地図112点 ●グラフ・図表178点
- 文字資料177点 ●2次元コード16点

『現代の歴史総合』みる・読みとく・考える

深める歴史 テーマ・資料・問いで考える

① 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習

- ・各テーマは4ページまたは6ページで構成
- ・日本と世界が相互に関連していることを意識できる記述

② 深い学び、考える授業の実現

- ・写真、絵画、風刺画などバリエーション豊かな資料
- ・文字資料、グラフ、新聞記事など内容理解を促す資料

③ グループワークに最適！様々な問い設定

- ・大きな問いから各資料に付した小さな問いまで様々な問いを設定
- ・「問い」はグループワークなど生徒同士での意見交換を想定

内容解説資料  
p.3参照

# B.『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

## (第1部) 近代化と私たち

### 部のはじめ



### 近代化と私たち

第I部

近代化とは何だろうか。1～6の事例から選んで考えてみよう。



#### 1 交通と貿易

19世紀に鉄道や蒸気船などの交通機関が急速に普及し、それにともなって貿易も急速に拡大した。これによって世界の結びつきはどのように変化したのだろうか？



1 馬車と蒸気機関車の競争(アメリカ、1830年)

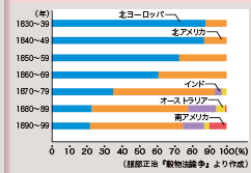
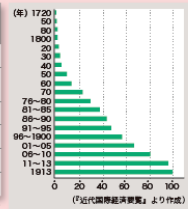


2 蒸気力のみではじめて大西洋を横断(1839年)したシリウス号



3 19世紀を通じて活躍した快速帆船

年	1800	1810	1820	1830	1840	1850	1860	1870	1880	1890	1900
馬車	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
船舶(総トン)	5	6	8	10	10	11	11	11	11	11	11
海洋船	10	15	20	25	30	30	30	30	35	35	35
鉄道	31	40	50	60	60	65	70	100			
自動車	-	-	-	30	45	55	60	75			
飛行機	-	-	-	-	-	50	110	185	300		

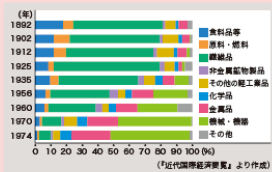


4 おもな交通手段とその速度(単位:マイル/時)

5 世界貿易数量の指数(1913年=100)

6 イギリスの小売輸入額の割合

① ①～⑤ から何がわかるだろうか。  
② ⑥から何がわかるだろうか。



7 日本の貿易商品の構成(輸出)

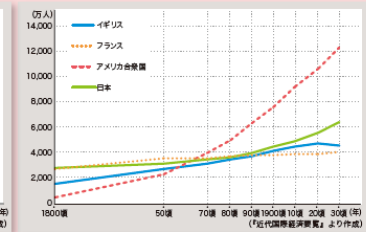
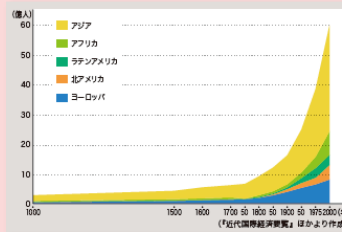
③ ⑦から、日本の輸出品について何がわかるだろうか。

「交通と貿易」に関するこれらの資料を読んで、気がついたこと、もっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみよう。



#### 2 産業と人口

18世紀後半のヨーロッパで機械化が始まると、諸産業には大きな変化が生じ、その動きはアメリカ合衆国やアジアなどへも波及した。このことは、世界および各地の人口動態にどのような影響をおよぼしたのだろうか？

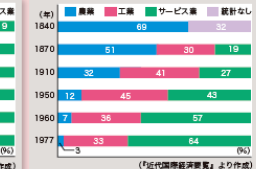
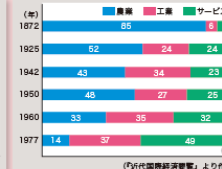
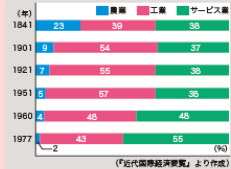


① 大規模人口の推移

② 国別人口の推移

① ①②について、それぞれ人口が多いのはどこだろうか。時期による違いにも注目してみよう。

② ②から、江戸時代の日本の人口における特色として何があげられるだろうか。



③ イギリスの労働力の割合

④ 日本の労働力の割合

⑤ アメリカの労働力の割合

② ③～⑤の3つの産業間の労働力の割合において、3つの国に共通していることは何だろうか。

労働者階級 ジェントリ (地主)	商人・貴族 小次郎	機械工・労働者	
ラトランド州 (イングランド中部の農村地帯)	52歳	41歳	36歳
マンチェスター (イングランド北部の工業地帯)	38	20	17
バスネー・グリーン (ロンドン東部の賃労働者街)	45	26	16

⑥ イギリスの平均寿命(19世紀中期)

③ ⑥から何が読みとれるだろうか。



7 ロンドンのスラム街(1872年)

「産業と人口」に関するこれらの資料を読んで、気がついたこと、もっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみよう。



- ・交通と貿易
- ・産業と人口
- ・権利意識と政治参加、国民の義務
- ・学校教育
- ・労働と家族
- ・移民

について資料を掲載

資料を読みとく技術を培いながら、近代化について疑問や課題意識を持つ

キャラクターがナビゲート

内容解説資料  
p.6～11参照



# B.『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

## 章の概観

### 章のはじめ

#### 第1章 結びつく世界と日本の開国

この章では、18世紀の東アジアの社会と経済、アジアの地域間での貿易と欧米諸国との新しい貿易、産業革命、中国の開港と日本の開国などを扱います。日本を含めいろいろな国や地域の動向を比較したり相互に関連づけたりして、工業化や交通・通信手段がどのように進展し、世界市場が形成されていったのかを学びます。その結果、アジア諸国の社会と経済の仕組みや欧米諸国との関係が変容していくことについて理解を深めましょう。



詳しくみよう！

アジア歴史資料センター

トップページの「さまざまなコンテンツ」から「社会科授業用資料リスト」をみてみましょう。日米和親条約の写真が閲覧できます。

動画にアクセスしよう！

大阪の水運と商業の発達 (-p.23) | イギリスの産業革命 (-p.29) | ベリー来航 (-p.36) (NHK for Schoolより)

2次元コードは動画やWebサイトへリンク

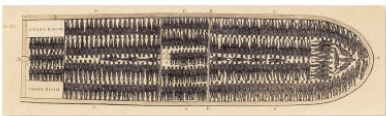


1600	1600	02	03	16	35	39	69	70年代	89	1700
イギリス東インド会社設立	オランダ東インド会社設立	徳川幕府、征夷大将軍となる	アインのちの幕府	日本の輸入品禁止	ポルトガル船の来航禁止	シャクシャインの戦い	西の諸島の発見	イギリス、領土の拡大	イギリス、産業革命の始まり	1700
16	57	60年代	60-70年代	67	76	87	89	92	93	
東洋の貿易の中心地	インドでの貿易の中心地	イギリス東インド会社設立	イギリス、産業革命の中心地	回教時代 (78)	アメリカ独立宣言	東洋の貿易の中心地	フランス革命が広がる	ロシアの改革	イギリス、産業革命の中心地	

西-日本と関わりが深いこと 東-世界



**大坂の賑わい**  
手前に樽廻船の蔵、向こう岸に変形廻船の蔵が建ち並び、奥に見える大型船が変形廻船である。(大坂城天守閣蔵)



**奴隷船を描いた絵(1780年代)**  
労働力として売られた奴隷は、劣悪な環境のなかで運ばれた。



**清とイギリスの貿易交渉を描いた風刺画(1793年)**  
清の乾隆帝に拜謁する、イギリス使節が描かれている。

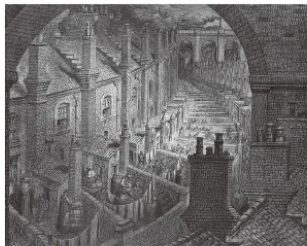
1800	04	06	07	14	25	34	39	40	42	48	49	51	53	54	55	56	57	58	61	66	69	
ナポレオンが皇帝に即位	文化の革新が広がる	産業革命の中心地	ウィーン会議(1815)	イギリスの改革	イギリスの改革	ドナウ川国境の閉鎖	オスマン帝国で産業革命	アヘン戦争(1842)	マルクス・エンゲルス	イギリスの改革	アメリカ、カリフォルニア	アメリカ、カリフォルニア	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革	アメリカの改革



**黒船の図**  
ベリーの来航を描いた日本の銅版。(神奈川県立歴史博物館蔵)



**大陸横断鉄道の完成(1869年)**  
アメリカ合衆国の東西を結ぶ鉄道が開通したことで、西部の市場と東部の工業地帯が結びつけられた。



**都市環境の悪化(1872年)**  
ロンドンのスラム街の様子が描かれている。



**岩倉使節団**  
特命全權大使の岩倉使節団は冠をとめるまげをまだ残しているが、まわりの副使は全員まげを切っている。(山口県立歴史博物館蔵)

年表や図版で、章の概観をつかむ

内容解説資料 p.6~11参照

# B.『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

## 本文

## 44のテーマ学習

### 1テーマは4～6ページで構成 社会の特質や構造を捉え、 理解を深める



### 18世紀の東アジアにおける社会と経済

18世紀の中国と日本では、商品生産と流通網はどのように発達したのだろうか？



この絵は18世紀の南中国地方にある蘇州(蘇郡)の様子を描いたものである。大運河が通り、水上交通の要であった蘇州には無数の船が往来し、経済や文化の中心として繁栄をまわった。18世紀中国には人口は50万人に達した。  
①大運河沿いに並ぶ商店の看板の文字を読んでみよう。どのような商品が取り引きされたのだろうか。  
②看板に「行」という文字がみられるが、これは何を意味するのだろうか。

#### テーマへのアプローチ

- 18世紀の中国経済の発展に、どのような商品やモノが影響を与えたのだろうか。
- 繁栄する18世紀の東アジアのなかで、中国と日本の共通点と相違点はどこにあったのだろうか。
- 徳川幕府の仕組みは、どのようななかたちで経済の発展に影響を与えたのだろうか。

中国(清)	日本
1716	享保の改革(～40)
1721	参勤交代制度(～180)
1722	差別化の経済
1724	キリスト教禁制品(この際、硝子原料禁制品)
1732	享保の幕府
1732	参勤交代の費用を自給に決定
1767	天明の幕府
1782	天明の幕府
1783	天明の幕府
1787	天明の幕府
1782	天明の幕府
1798	天明の幕府
1796	天明の幕府

#### A ② 手工業の発達



時代の発展による図解入りの産業技術書『天工開物』の一部。(原文再現)

①どのような製品をつくっているところだろうか。  
②「天工開物」は日本に輸入されて多くの書誌に引用されたり、和訳本というかたちで再行された。江戸時代の日本経済の特徴(一)から、その理由をあげてみよう。

#### B 商業ルートの発達



金貨は文藝の盛んな町というが、新貨の需に位置し、土地は半せて人口は多く、遠隔地商業にたずさわる者は3分の1を占める。……蘇州にいる金貨出身者は同郷人の求むるをよび、金庫から別米した者も同郷人を頼りに集まってくる。……花暦9年(1744年)金庫の同郷者たちは「蘇州に金庫を建てよう」と合議し、資金を出し合い……建物をそろえ、職人を集め、天明の年(1762年)に完成した。

③ ④より、「金庫の同郷者たち」が蘇州に金庫を建てようとした理由は何か。  
④より、「蘇州の同郷者たち」が蘇州に金庫を建てようとした理由は何か。

#### 18世紀の中国経済

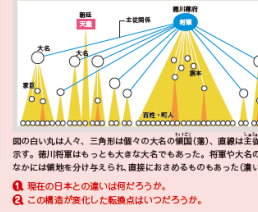
中国では、長江下流域から登陸した漢人の王朝である明が、皇帝の専制支配のもとで全国を統治した。その後、17世紀に清の入りのたてた清が台頭し、明の諸制度を継承しつつ、広大で多様な中国土を統合して18世紀に全盛期を迎えた。  
① 明代以降、中国の農業は飛躍的に発展していた。なかでも長江下流域の江南地方では茶や棉花など商品作物の栽培が進み、生糸や絹織物、綿織物の手工業が発達した。明代には蘇州から天津に向かう大運河が整備され、また国内水上交通の要所であった江南地方の蘇州や長江中流域の漢口などが商工業都市として繁栄した。明から清に至る経済的発展にとまらぬ、全国的な通商地帯と金銀のネットワークが形成され、それらの業務を担う山西商人や徽州(新安)商人が台頭した。  
② さらに知識者のサトウキビ栽培による製糖業、京焼窯の陶磁器生産といった地域の特産物も盛んに生産された。また、17世紀頃からアメリカ大陸原産のトウモロコシやサツマイモといった新作物の栽培が始まり、山地の開墾が進んだ。一方で、16世紀以降には、海外貿易により日本やアメリカ大陸から糖が大量に流入した結果、商工業が活性化されたほか、貨幣経済が農村にも浸透して税の銀納化が進んだ。このような経済発展が18世紀の人口増加を支えた。もともと、日本と比べて広大な国土を抱え、多様な

→大運河  
6世紀から7世紀初期の隋の時代に原形がつくり、中国の南北の流通網として重要な役割を担った。  
→サツマイモの伝来  
日本ではツツマイモ、朝鮮ではリュウキュウイモ、琉球ではカラモ(黒芋)と呼び、名前の由来がそのまま日本への伝来したルートを示している。



⑤ 18世紀の東アジアにおける社会と経済

#### D 江戸時代の日本の国制



① 現在の日本の憲法はいつできたのか。  
② この構造が変化した転機点は何だったのか。

#### E 全国市場の確立



① 大坂が物資の集積地となったのはいつか。  
② 幕府はどこで発出し、どのようなルートでどこまで流通したのだろうか。

#### 18世紀の日本社会

江戸時代の日本では、古代からの王権である天皇(朝廷)が権威をおこなう一方、政治の実権は17世紀初めに全国を統一した徳川将軍(幕府)にあった。全国は幕府の直轄領と、二百数十におよぶ大名が内政をおこなう藩に分かれ、将軍は大名を臣従させて彼らへの軍事指揮権を握り、天皇の権威をよりどころとして全国を支配した。  
人々は身分集団に属し、身分は基本的に世襲された。支配身分である武士は将軍、大名とその家臣となり、家臣は城下町に集住して行政を担った。人口の大部分は被支配身分であり、村で農業をおこなう百姓、町で商業や手工業をおこなう町人、そして被差別身分を含む多様な小農の身分集団があった。それぞれの身分に応じた役割を担うことが美徳とされ、とくに生産者である百姓は年貢を負擔する役割を負った。幕府と藩はそれぞれの支配地において、検地帳に記載された百姓の土地の耕作権と所持権を保障して村ごとに年貢や諸役を課し、年貢米から武士の俸給を支給した。  
江戸時代における幕府収入の中心は、書上上の年間収穫高である年貢で、直轄領400万石から納められる年貢であった。18世紀になると年貢収入が停滞するうえに米価が下落したため、幕府の財政が逼迫しはじめた。

#### 18世紀の日本経済とその姿

18世紀の日本では、古代からの王権である天皇(朝廷)が権威をおこなう一方、政治の実権は17世紀初めに全国を統一した徳川将軍(幕府)にあった。全国は幕府の直轄領と、二百数十におよぶ大名が内政をおこなう藩に分かれ、将軍は大名を臣従させて彼らへの軍事指揮権を握り、天皇の権威をよりどころとして全国を支配した。  
人々は身分集団に属し、身分は基本的に世襲された。支配身分である武士は将軍、大名とその家臣となり、家臣は城下町に集住して行政を担った。人口の大部分は被支配身分であり、村で農業をおこなう百姓、町で商業や手工業をおこなう町人、そして被差別身分を含む多様な小農の身分集団があった。それぞれの身分に応じた役割を担うことが美徳とされ、とくに生産者である百姓は年貢を負擔する役割を負った。幕府と藩はそれぞれの支配地において、検地帳に記載された百姓の土地の耕作権と所持権を保障して村ごとに年貢や諸役を課し、年貢米から武士の俸給を支給した。  
江戸時代における幕府収入の中心は、書上上の年間収穫高である年貢で、直轄領400万石から納められる年貢であった。18世紀になると年貢収入が停滞するうえに米価が下落したため、幕府の財政が逼迫しはじめた。

## バリエーション豊かな資料

内容解説資料  
p.6～11参照

# B.『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

## 様々な「問い」

### 本文

グループワークを想定し、主体的・対話的な学びを実現



### 1 18世紀の東アジアにおける社会と経済

18世紀の中国と日本では、商品生産と流通網はどのように発達したのだろうか？



1 『姑蘇繁華圖』(部分、複製)  
この絵は18世紀の清代の江南地方にある蘇州(姑蘇)の様子を描いたものである。大運河が通り、水上交通の要であった蘇州には無数の船が往来し、経済や文化の中心として繁栄をまわった。18世紀中頃には人口は50万人に達した。  
①大運河沿いに並ぶ商店の看板の文字を読んでみよう。どのような商品が取り引きされたのだろうか。  
②看板に「行」という文字がみられるが、これは何を意味するのだろうか。

- テーマへのアプローチ
- 18世紀の中国経済の発展に、どのような商品やモノが影響を与えたのだろうか。
  - 繁栄する18世紀の東アジアのなかで、中国と日本の共通点と相違点はどこにあったのだろうか。
  - 徳川幕府の仕組みは、どのようなかたちで経済の発展に影響を与えたのだろうか。

中国(清)	日本
1716	享保の改革(～45)
1721	林圀麿の結成(生糸製)
1722	定免法の採用
1724	キリスト教全面禁止/この頃、地丁制実施
1732	享保の飢饉
1757	田沼時代(～96)
1767	天明の飢饉
1782	浅間山大噴火
1783	寛政の改革(～93)
1787	ロシア使節来航
1792	
1793	イギリス使節、乾隆重に謁見
1796	日蓮教徒の乱(～1804)

テーマの目標となる大きな「問い」

#### A ② 手工業の発達



明代の宋応星による図解入り産業技術書『天工開物』の一場面

- ① どのような製品をつくっているところだろうか。
- ② 『天工開物』は日本に輸入されて多くの書誌に引用されたり、和訳本といふかたちで刊行された。江戸時代の日本経済の特徴(→20)から、その理由をあげてみよう。

#### B 商業ルートの発達



金華は文藝の盛んな町というのが、浙東の端に位置し、土地はやせて人口は多く、遠隔地商業にたずさわる者は3分の1を占める。……蘇州にいる金華出身者は同郷人の来訪をよるごび、金華から到来した者も同郷人を頼りに集まってくる。……乾隆9年(1744年)金華の同郷者たちは、[蘇州に]会館を建てようと合議し、資金を出し合い……建材をそろえ、職人を集め、壬申の年(1752年)に完成した。

4 金華会館(複製)(大華、1752年)

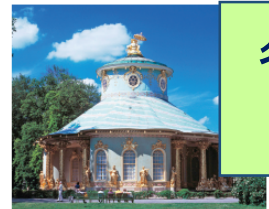
- ③ 蘇州商人の交易ルート
- ①②は遠隔地商人の交易ルートを示している。ルートが密になっているのはどの地域だろうか。
- ②より、「金華の同郷者たち」が蘇州に会館を建てようとした理由は何だろうか。

#### 18世紀の中国経済

中国では、長江下流域から台頭した漢朝である明が、皇帝の専制支配のもとで全国を統治した。その後、17世紀に満洲人のたてた清が台頭し、明の諸制度を踏襲しつつ、広大多様な中国全土を統合して18世紀に全盛期を迎えた。明代以降、中国の農業は飛躍的に発展していた。なかでも長江下流域の江南地方では桑や綿花など商品作物の栽培が進み、生糸や絹織物、綿織物の手工業が発達した。明代には杭州から天津に向かう大運河が整備され、また国内水上交通の要所であった江南地方の蘇州や長江中流域の漢口などが商工業都市として繁栄した。明から清に至る経済的發展にとまらぬ、全国的な遠隔地商業と金融のネットワークが形成され、それらの業務を担う山西商人や徽州(新安)商人が台頭した。さらに福建省のサトウキビ栽培による製糖業、景德鎮の陶磁器生産といった地域の特産物もさかんに生産された。また、17世紀頃からアメリカ大陸原産のトウモロコシやサツマイモといった新作物の栽培が始まり、山地

大運河  
17世紀末から17世紀初めの清の時代に原形がつかない。南北の流通網として重要な役割を担った。

サツマイモの伝来  
日本ではサツマイモ、薩摩ではサツマイモ、琉球ではカライモ(唐芋)と呼び、名産のまま日本への伝播したルートを示している。



5 シノワズリ  
18～19世紀のヨーロッパでは、建築・家具・食器などの分野でシノワズリと呼ばれる中国風の美術工芸品が流行した。中国へのあこがれと異国趣味のあらわれであった。写真はドイツのポツダムにあるサンシュン宮殿の中国風茶屋。

日本と世界の動きを比較する年表

各資料に付随した小さな「問い」

内容解説資料 p.6～11参照

# B.『現代の歴史総合』

みる・読みとく・考える

## (第1部) 近代化と現代的な諸課題

### 部のまとめ

#### 近代化と 現代的な諸課題

第1部で学んだ事柄は、現代の諸課題を考えるうえでのヒントにもなる。①～④の観点から考えてみよう。



#### ① 開発・保全

産業革命を経験した国やその植民地では、開発が急激におこなわれたが、それとともなって環境が変化すると、保全も必要なが徐々に認識されていった。このような環境の変化に、人々はどのように対応したのだろうか。

#### 環境汚染



① テムズ川の汚染 (PUNCH, イギリス, 1859年)

イギリスでは、生活排水や工場排水でテムズ川の汚染が深刻になった。汚れた川の水は井戸水にも流入し、それまでなかったロンドンでのコレラの大流行が、19世紀初頭から中頃だけで3回も生じた。その後、病理学や医学の発達とともに公衆衛生に対する考えが変わり、19世紀後半に上下水道が整備されると、コレラの大流行はみられなくなった。



② 足尾銅山と周辺のはげ山 (丸岡晴海, 1901年)

日本では、1890年代から銅の需要が高まり、産出量が激増した。栃木県の足尾銅川流域では、鉱毒によって耕地が荒廃した。田中正造らが鉱山操業停止を求めたが、近隣住民のあいだでは雇用喪失を心配した操業停止反対運動も起こった。生糸と並ぶ外貨獲得手段であった銅の一大産出地ということもあり、政府は操業を停止させず、鉱毒問題を治水問題に置き換え、1907年に谷中村を農村として遊水池にして問題の収束をはかった。(東京国立近代美術館蔵)

- ① ②の問題について、なぜ対策が遅れたり、徹底した対策がとれなかったりしたのだろうか。現代の私たちとは異なる、当時の人々の状況や考えなどに着目して考えてみよう。
- ③ その後、これらと似た構造の問題は発生していないだろうか。

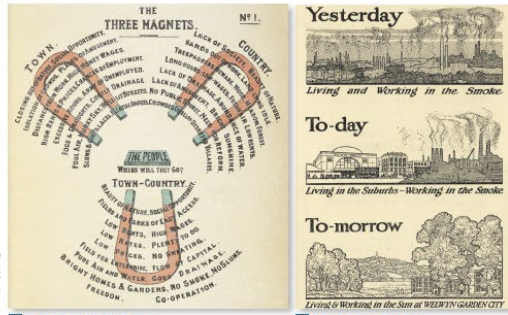
#### 環境保全への試み

環境の悪化に際し、新しい社会のあり方を模索する試みも生まれた。



③ エベネザー・ハウード

ロンドンの環境悪化を受けて、19世紀末にGarden City構想を発表し、20世紀初頭にロンドン郊外のレッチワースでその構想を実現した。



④ ハワードの著作中の概念図

⑤ Garden Cityのポスター

④ ⑤について、「TOWN」「COUNTRY」「TOWN-COUNTRY」の3つは、それぞれどのような特徴をもつ居住空間だとされているだろうか。

\*TOWN-COUNTRYはのちのGarden City。

⑥ あなたなら3つのうち、住むのどこを選ぶだろうか。それを選んだ理由も含めて、まわりの人と意見交換をしてみよう。

Garden City構想の影響を受け、日本では20世紀初頭より田園都市の建設が首都圏や関西圏の郊外で試みられた。



⑥ 田園都市案内 (東京都江戸東京博物館蔵)

⑦ 現在に至るまで、大都市に住む人々の割合は圧倒的に多い。なぜGarden Cityや田園都市は、居住空間として一般的にならなかったのだろうか。



現代社会にも、「開発・保全」に関係した問題は数多く存在している。その具体的な事例をあげて、開発と保全のバランスに着目して考えてみよう。

「開発・保全」  
「対立・協調」  
「自由・制限」  
について取り上げる

過去の課題に対する取り組みを  
資料を見ながら読みとくとき、

現代の諸課題について自ら課題  
を設定して考える

キャラクターがナビゲート

内容解説資料  
p.6～11参照

C.『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

歴総709



◆AB判 182頁 ●写真301点

●地図87点 ●グラフ・図表100点

●文字資料54点 ●2次元コード10点

『わたしたちの歴史』日本から世界へ

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

①厳選された見開き2ページ完結の47テーマ

- ・**これだけは！**という47テーマを厳選。(1テーマ見開き2頁完結)
- ・2単位で**余裕をもった授業展開**

②現場目線の楽しい工夫

- ・高校の先生が執筆。**授業で活用しやすい要素が多数**
- ・**巻末の用語解説**には、生徒になじみの薄いと思われる用語を収録

③身近な歴史から世界をみる

- ・学校、給食、映画、野球、SDGsなど**身近なものが随所に**
- ・**平易でわかりやすい記述**

内容解説資料  
p.3参照

# C. 『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

## (第1部) 近代化への問い

### 部のはじめ



#### 近代化への問い①

①～⑥のテーマのなかから選んで、取り組んでみよう。

#### 交通と貿易

18世紀のイギリスで始まった産業革命は、交通機関の発達もうながした。交通機関が発達していた理由や、その影響について、みていこう。

#### 新しい交通機関の発明



運河開通以前には陸上交通は、……100ポンド\*の重さのものも1マイル\*運ぶのに1セント\*がかかった。そこでコムギ1バレル\*が船車\*に出して5ドル\*するとなれば、そのコムギが300マイル\*運ぶ運賃は5ドル以上になったであろう。しかし鉄道によるとシンシゲイからニューヨークまで1ドルで運ぶことができる。



\*1ポンド=約453グラム、\*2マイル=約3.2キロメートル、\*3マイル=約4.8キロメートル、\*4マイル=約6.4キロメートル、\*5マイル=約8.0キロメートル、\*6マイル=約9.7キロメートル、\*7マイル=約11.3キロメートル、\*8マイル=約12.9キロメートル、\*9マイル=約14.5キロメートル、\*10マイル=約16.1キロメートル、\*11マイル=約17.7キロメートル、\*12マイル=約19.3キロメートル、\*13マイル=約20.9キロメートル、\*14マイル=約22.5キロメートル、\*15マイル=約24.1キロメートル、\*16マイル=約25.7キロメートル、\*17マイル=約27.3キロメートル、\*18マイル=約28.9キロメートル、\*19マイル=約30.5キロメートル、\*20マイル=約32.1キロメートル、\*21マイル=約33.7キロメートル、\*22マイル=約35.3キロメートル、\*23マイル=約36.9キロメートル、\*24マイル=約38.5キロメートル、\*25マイル=約40.1キロメートル、\*26マイル=約41.7キロメートル、\*27マイル=約43.3キロメートル、\*28マイル=約44.9キロメートル、\*29マイル=約46.5キロメートル、\*30マイル=約48.1キロメートル、\*31マイル=約49.7キロメートル、\*32マイル=約51.3キロメートル、\*33マイル=約52.9キロメートル、\*34マイル=約54.5キロメートル、\*35マイル=約56.1キロメートル、\*36マイル=約57.7キロメートル、\*37マイル=約59.3キロメートル、\*38マイル=約60.9キロメートル、\*39マイル=約62.5キロメートル、\*40マイル=約64.1キロメートル、\*41マイル=約65.7キロメートル、\*42マイル=約67.3キロメートル、\*43マイル=約68.9キロメートル、\*44マイル=約70.5キロメートル、\*45マイル=約72.1キロメートル、\*46マイル=約73.7キロメートル、\*47マイル=約75.3キロメートル、\*48マイル=約76.9キロメートル、\*49マイル=約78.5キロメートル、\*50マイル=約80.1キロメートル、\*51マイル=約81.7キロメートル、\*52マイル=約83.3キロメートル、\*53マイル=約84.9キロメートル、\*54マイル=約86.5キロメートル、\*55マイル=約88.1キロメートル、\*56マイル=約89.7キロメートル、\*57マイル=約91.3キロメートル、\*58マイル=約92.9キロメートル、\*59マイル=約94.5キロメートル、\*60マイル=約96.1キロメートル、\*61マイル=約97.7キロメートル、\*62マイル=約99.3キロメートル、\*63マイル=約100.9キロメートル、\*64マイル=約102.5キロメートル、\*65マイル=約104.1キロメートル、\*66マイル=約105.7キロメートル、\*67マイル=約107.3キロメートル、\*68マイル=約108.9キロメートル、\*69マイル=約110.5キロメートル、\*70マイル=約112.1キロメートル、\*71マイル=約113.7キロメートル、\*72マイル=約115.3キロメートル、\*73マイル=約116.9キロメートル、\*74マイル=約118.5キロメートル、\*75マイル=約120.1キロメートル、\*76マイル=約121.7キロメートル、\*77マイル=約123.3キロメートル、\*78マイル=約124.9キロメートル、\*79マイル=約126.5キロメートル、\*80マイル=約128.1キロメートル、\*81マイル=約129.7キロメートル、\*82マイル=約131.3キロメートル、\*83マイル=約132.9キロメートル、\*84マイル=約134.5キロメートル、\*85マイル=約136.1キロメートル、\*86マイル=約137.7キロメートル、\*87マイル=約139.3キロメートル、\*88マイル=約140.9キロメートル、\*89マイル=約142.5キロメートル、\*90マイル=約144.1キロメートル、\*91マイル=約145.7キロメートル、\*92マイル=約147.3キロメートル、\*93マイル=約148.9キロメートル、\*94マイル=約150.5キロメートル、\*95マイル=約152.1キロメートル、\*96マイル=約153.7キロメートル、\*97マイル=約155.3キロメートル、\*98マイル=約156.9キロメートル、\*99マイル=約158.5キロメートル、\*100マイル=約160.1キロメートル

- ①の絵は、蒸気機関を利用した新しい交通機関ですね。
  - ②によると、鉄道によってコムギの輸送費が(A)：高くなった/安くなったことがわかります。
  - ③ということは、鉄道は(B)にも活用されたと考えられますね。
- (A)や(B)に当てはまる選択肢や言葉は何だろうか？

#### 日本における新しい交通機関の発達

- 1872 新橋と横浜のあいだに最初の鉄道が開通する
- 1881 日本鉄道会社が設立される
- 1885 日本郵船会社が設立される
- 1889 東海運送(東京～神戸)が全通する
- 1891 日本鉄道会社が上野～青森に鉄道を全通させる
- 1893 日本郵船会社がボンベイ(インド)への航路を開く
- 1896 日本郵船会社がアントウェルペン(ヨーロッパ)、シアトル(北アメリカ)、メルボルン(オーストラリア)への航路を開く
- 1906 鉄道国有法が制定される



- ④をみると、日本でも(C)：明治維新/第一次世界大戦/第二次世界大戦以降、新しい交通機関が発達していきますね。
  - 最初の国際航路がインドへの航路となったのは、なぜでしょう？
  - この頃のインドは、(D)：綿花/生糸/アヘン/茶の生産地として知られていました。
  - 欧米への航路は、日本で生産された(E)：綿花/生糸/アヘン/茶の輸出のために開かれたのでしょうか？
- (C)から(E)に当てはまる選択肢は何だろうか？

このページで気づいたこと、もっと知りたいと思ったことを疑問のかたちでまとめてみよう。

#### 近代化への問い②

#### 産業と人口

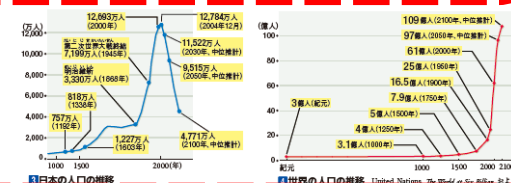
産業革命は、紡績業の分野から始まった。産業の発達やその影響について、みていこう。

#### 紡績業の発展



- ① 中学校で産業革命を習いました。そのときに、②のような写真を見たことがあります。
  - ③ヨーロッパの(A)：イギリス/フランス/ドイツ/インドから始まった産業革命は、紡績業などの軽工業から始まりました。
  - ④の前は、⑤のように手動で糸をつかっていました。
  - つまり、産業革命とは(B)を使って、製品を大量生産することなんですね。
- (A)や(B)に当てはまる選択肢や言葉は何だろうか？

#### 人口の変化



- ⑥ 産業が発達すると、社会も変化します。⑦のグラフから、どのようなことが読み取れるでしょうか？
  - ⑧日本では明治維新のあと、(C)が大きく増加しています。
  - そうですね。⑨のグラフも参考にして、(C)が増加した原因は何が考えられますか？
- (C)に当てはまる言葉は何だろうか？

このページで気づいたこと、もっと知りたいと思ったことを疑問のかたちでまとめてみよう。

- ・交通と貿易
- ・農業と人口
- ・権利意識と政治参加や国民の義務
- ・学校教育
- ・労働と家族
- ・移民

資料を読みとく技術を培いながら、  
疑問や課題意識を持つ

ヒントになるような  
キャラクターの会話文

内容解説資料  
p.6～7参照

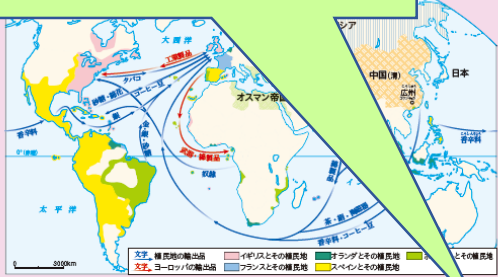
C. 『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

1テーマ1見開きの本文

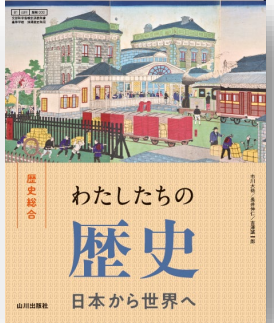
本文

テーマの「問い」



中国の都市のにぎわい 中国では、河川や運河を利用した輸送網が発達し、都市では活発な商取引がおこなわれていた。

図版は大きく！



2ページ完結の47テーマ！  
2単位で余裕をもった授業展開ができるので、アクティブラーニングなども取り入れやすいです。

本文の分量は各テーマ統一！

資料へアプローチするための「問い」

18世紀の世界とアジア

18世紀のアジアは、経済や文化が発達していた。こうした状況は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

18世紀のアジアへのおこがれ

国・ムガル帝国・清などが栄え、経済や文化が発達していた。とくにインドから中国にかけての地域は、綿織物・茶・陶磁器などの世界商品を生産していた。このうち、インド産の綿織物はヨーロッパで使われるだけでなく、アフリカで奴隷貿易の対価としても用いられる重要な商品であった。また、中国産の茶を陶磁器で飲む習慣は、当時のイギリスで上・中流階級のみならず、下層階級にも広がっていた。

これらの商品を手に入れるために、ヨーロッパ諸国は、東インド会社という特許会社を設立するなどして、アジアへ進出したが、東南アジア島嶼部やインド沿岸部を除くと、植民地にするのは容易ではなかった。とくに清は、17世紀後半に即位した乾隆帝以来、3代約130年にわたる繁栄の時代にあり、ヨーロッパ諸国に対してキリスト教布教の禁止や貿易の統制をおこなっていた。中国に渡った宣教師らの報告を通じて、ヨーロッパにもたらされた中国の政治体制や文化は、ヨーロッパの思想家に大きな影響を与えた。

ヨーロッパ諸国の海外進出 ヨーロッパ諸国は、16世紀頃から商品を取り入れるため、海外へ進出ははじめ、たがいに植民地獲得競争を繰り返した。その結果、18世紀に入る頃までは南北アメリカ大陸が植民地化された。また、アフリカ西海岸に拠点を設けた奴

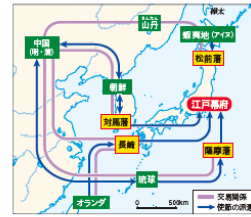
隷貿易もおこなわれ、大西洋三角貿易と呼ばれる体制が成立した。ヨーロッパ諸国の競争は、18世紀後半にイギリスの勝利で終わった。しかし、1783年にアメリカ合衆国がイギリスから独立し、その影響を受けて、19世紀前半にはラテンアメリカ諸地域も独立を達成した。そのため、ヨーロッパ諸国は、新たな進出先を求める必要にせまられていた。

日本・琉球・蝦夷地 1603(慶長8)年に成立した江戸幕府は、17世紀半ばまでにキリスト教を禁じ、日本人の海外渡航や海外に居住する日本人の帰国も禁じた。さらに、オランダを除くヨーロッパ船の来航を禁止して貿易を統制した。こうした状態は、のちに「鎖国」と呼ばれた。しかし、幕府はいわゆる「四つの窓口」を通じて海外

との交流を続けており、その情報をもとに同時代の国際情勢を把握した。幕府が貿易を統制すると、それまで輸入品であった綿織物・茶・陶磁器・砂糖などは日本国内で生産されるようになった。また、新田開発などによって農業生産も伸びた。これらを背景に、日本では江戸・大坂・京都の三部が生まれ、三部を中心に全国市場も形成された。

15世紀に成立した琉球王国は、明・清の冊封国としての立場をとり、中継貿易で栄えていた。しかし、17世紀に薩摩藩の侵襲を受けてからは、中国に形式的に服属しながらも、日本の支配を実質的に受けるようになった。

20 蝦夷地(現在の北海道)は、まだ日本の領域としては把握されていなかった。蝦夷地南端の松前をおさめていた大名は、先住民族のアイヌとの交易を通じて蝦夷地の物産や中国東北地方の物産を手に入っていた。



江戸時代の対外交易 江戸時代の日本は、長崎・出島・釜山・アモル・オランダの「四つの窓口」を通じて海外と交流をおこなった。

おこなった。また日本は、清と正式な国交をもたなかったが、慶応で中国の商人との取引を許したほか、オランダ・琉球・朝鮮を通じて交易をおこなった。

18世紀のヨーロッパ人の中国観

中国の政治に対して批判的な意見がヨーロッパではかなり広く存在するのだが、私は逆に、中国旅行記などによって、その政体が前代で明確な法律にもとづいて、その法を皇帝が遵守させるとともに、皇帝自身も遵守していると理解するにいたった。

(ケネー「乾隆の朝政」、『大東洋記』(『蘭語訳撰』の序文))

ケネーは、当時の中国(清)を、どのようにみていたのだろうか？

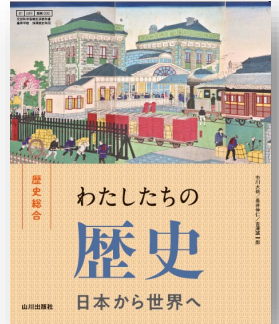
内容解説資料 p.8~9参照

# C. 『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

## (第1部) いまの私たちにつながる課題

### 部のまとめ



#### いまの私たちにつながる課題 自由・制限

### どっちがお得？ 自由貿易と保護貿易

人類の歴史をみると、国や人々がいろいろな制約から自由になろうとする動きがある一方で、行き過ぎた自由を制限しようとする動きがあることにも気がつく。このことについて、「貿易」を例として考えてみよう。

#### 自由貿易と保護貿易

貿易には、大きく分けて自由貿易と保護(制限)貿易という2つの形態がある。これらの形態は、歴史上、どのような国で、どのようなときに、選択されたのだろうか。まずは、自由貿易と保護貿易の特徴を整理してみよう。

**1 自由貿易と保護貿易の違い**

自由貿易＝国家が貿易に介入しない  
→市場の働きに任せた自由な取引がおこなわれる

保護貿易＝国家が貿易に介入して自国の産業を保護・擁護する  
例：関税や輸入数量制限などにより輸入を制限する  
輸出奨励金などにより自国製品の輸出をあと押しする

- Q1** 1から、自由貿易を選ぶ国と保護貿易を選ぶ国には、どのような違いがあるといえるだろうか？
- Q2** ①1円でも安い商品を買いたい人にとって、自由貿易はどのような意味をもつだろうか？  
②他国より優れた製品の開発を進めている人や国にとって、保護貿易はどのような意味をもつだろうか？

工業や商業が発達している国と、そうではない国との違いに着目すると、どうだろうか？

#### 中国(清)とイギリス



清の皇帝に謁見するマカートニー

2の絵は、1793年にイギリスから派遣されたマカートニーが清の皇帝に謁見して、貿易の改善を求めている様子を描いたものである。

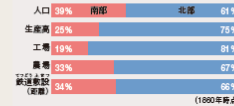
- Q3** ①イギリスは、清からおもに何を輸入していたのだろうか？  
②イギリスは、清へ何を輸出したかったのだろうか？  
③イギリスは、清に対してどのようなことを求めたのだろうか？  
④清は、なぜイギリスの要求を受け入れなかったのだろうか？  
⑤交渉に失敗したあと、イギリスはどのような手段で貿易の増進をおぼせようとしたのだろうか？

32～33ページに書かれていることも参照してみよう！

#### 19世紀後半のアメリカ合衆国

自由貿易か保護貿易かの選択をめぐるのは、国内でも意見が異なることがある。このことを、南北戦争にいたるまでのアメリカ合衆国の状況をまとめた3から5のグラフと絵から考えてみよう。

	南部	北部
産業	奴隷制にもとづく大農園(プランテーション)経営(棉花など)	資本主義的農工業
貿易政策	自由貿易主義(イギリスに棉花を輸出)	保護貿易主義
国会党派	州権主義	連邦主義
支持政党	民主党(1820年代結成)	共和党(1854年結成)
奴隷制	肯定	拡大反対



3 アメリカ合衆国の南部と北部の比較  
野村浩明『大開国アメリカの真実』より作成



3 南部の風景

4 北部

3と4の絵は、それぞれどのような様子を描いたものであるかに注目しよう！

- Q4** つぎにあげた南部・北部それぞれの主張にある(A)から(D)に当てはまる言葉を、3から5を参照して考えてみよう！

#### 南部の主張

保護貿易で(A)からの輸入を制限すると、彼らは、報復として、私たちのつくった(B)を輸入しなくなるかもしれない。それに、人口の少ない南部では、(C)は貴重な労働力でもあるんだ。

#### 北部の主張

自由貿易で(A)からの安い(D)の輸入を野放しにすると、私たちの工場の経営が危なくなる。それに、(C)を解放すれば、私たちは安価な労働力を獲得できるんだ。

貿易以外の点では、南部と北部の考え方には共通点もみられるようだ。それは、どのようなことだろうか？

- Q5** 「自由貿易と選択するか、保護貿易と選択するか」ということだけでなく、国家間や国内の地方間で意見が異なるという問題は、現代の社会でもみられるだろうか？ あるとしたら、どのような点が問題となっているのだろうか？

本文での学習を通して、身近な現代の諸課題について自ら課題を設定して考えます。

トキ先生からヒントも！



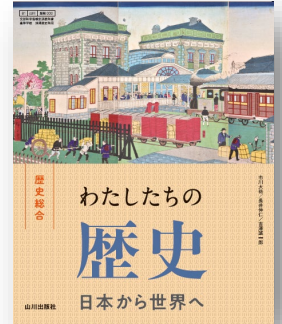
# C. 『わたしたちの歴史』

日本から世界へ

特集ページ

考えてみよう！

本文の内容をより深く考察できるように  
特集ページを7つ設けています。



わたしたちの  
**歴史**  
日本から世界へ

考えてみよう！

## 大衆文化としての映画



■「ラッシュオアヘンの列車の到着」 リュミエール兄弟より、1895年に上映された短編映画。スクリーンに映った列車が動き出すと、驚いて逃げ出す観客がいたといわれる。



■大衆の映画館 映画大衆化に伴っての多量な定額整理された活字には多くの映画館や劇場が建てられた。写真は1930年代の様子。

大衆文化のなかで発達した映画は、私たちの社会にどのような影響を与えたのだろうか？

### 映画の発明と広がり

映画は、フランスのリュミエール兄弟やアメリカ合衆国のエジソンらによって発明された。当時の映画は音声がなく、言語の重い大きな問題とならなかったが、国境をこえた技術の交流が盛んにおこなわれた。第一次世界大戦が始まる頃までは、様々な国で映画が作られるようになっていった。

先に日本最初の常設映画館が開業した。

### アメリカ合衆国と映画

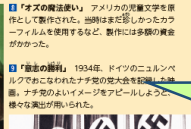
第一次世界大戦が始まると、アメリカはヨーロッパなどに資金の貸出などをおこなって利益をあげ、経済的に急成長した。アメリカ映画の製作数は大幅に増加し、世界中にアメリカ映画が輸出されるようになった。第一次世界大戦後は、ヨーロッパの監督や俳優がハリウッドにまねかれたこともあり、アメリカの映画産業は大きく成長した。映画は多くの人々に親しまれ、チャップリンなどのスターと呼ばれる俳優たちが注目を集めた。映画が人々の娯楽として定着していくにつれて、映画の社会への影響力も強まった。たとえば、1915年に公



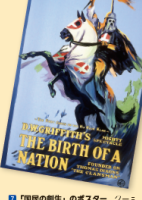
■「白雪姫」 ディズニー(1901-66)によるハリウッド初の長編アニメーション映画で、はじめて世界に広く知られたアニメーション映画でもあった。



■「オズの魔法使い」 アメリカの児童文学を原作として製作された。当時まだ珍しいカラーフィルムを使用するなど、製作には多額の資金がかかった。



■「権威の崩壊」 1934年、ドイツのニコルンベルクで開催されたナチ党の党大会を記録した映画。ナチ党のよいイメージをアピールしようとする様々な演出が用いられた。



■「国民の前進」のポスター。ワークラックス・クラウンが描かれている。



開された「国民の前進」では、南北戦争が描かれるなかで、黒人は悪役として登場した。映画では白人優越主義の秘密結社クー・クラックス・クラン(KKK)が英雄として描かれた。このことが実際のクー・クラックス・クランの活動を活発にさせたという説もある。

### 映画と政治

映画は、各国政府によってプロパガンダとして利用されることもあった。日本では、1920年代にロシア革命を正当化する映画がつくられた。ドイツでは、ナチ党が法律で映画の検閲を強めるとともに、多くの宣伝映画をつくらせた。日本でも、政府は映画を管轄下におこうとして、法律を定めた。戦時には、多くの戦争映画がつくられ、観客は映画を通じて兵士の感涙や、戦への協力をうながされた。アメリカやイギリスなどでも戦時には戦意高揚のための映画がつくられ、現代の映画にも登場する歴史を描く映画など、様々な種類の映画がつくられた。

「映画」や「スポーツ」など身近な話題が！

巻末

用語解説

## 用語解説

あ

- ★一揆 (p.41,52) 農民らが特定の目的を達成するための抵抗運動。江戸時代中期以降は、年貢の負担を軽くするよう求める大規模な一揆があり、後期には世直しを求める一揆が頻発した。
- ★委任統治 (p.82,84,126) 国際連盟が採用した制度。本来、独立国になるべきであるが準備が整っていない地域を、強国が国連から一時的にゆだねられおさめる。実際は、第一次世界大戦の戦勝国が敗戦国の植民地を分割する口実に使用したという見方もある。
- ★インフラ →社会資本・インフラ
- ★インフレーション・デフレーション (p.83,110) ある経済の状態を指す。インフレーションは、お金(不換紙幣)の発行が本来の妥当な量を超えて過剰になっている状態。この状態では通貨の価値は下がり、物価は上がる。デフレーションは、お金

- ★旧暦 (p.49) 使用されている暦より以前の暦のこと。現在、太陽暦を採用している日本の旧暦は太陰暦である。
- ★協商・同盟 (p.56) 同盟は国家・組織・個人が共通の目標を達成するために取決めで約束すること。協商は複数の国家が特定のことがらについて取決めをおこない、協力しあうことで、同盟に比べてゆるやかな結びつきとなる。
- ★英和政 (p.43) 国家に君主がいない政治形態。
- ★極東 (p.39) ヨーロッパからみて、中国・朝鮮・日本・東シベリアなど、もともと東に離れた地域を指す言葉。
- ★居留地 (p.35) 外国人に居住を許可した地域。ここでにおこなわれた貿易を居留地貿易という。日米修好通商条約(1858年)では、外国人の行動範囲は居留地周辺に限られ、日本国内を自由に旅行することはできなかった。
- ★金融緩和 (p.141) 景気対策の1つとして

- 大きな製品を生産する工業。
- ★経済制裁 →制裁
- ★啓蒙思想 (p.49) 人間が意識して思考する能力のことを理性というが、その理性を個人で確立していこうとする思想。
- ★毛織物 (p.30,40) ヒツジ・ヤギ・ラクダなどの毛でつくった糸から織られる織物で、保温性と耐久力にすぐれている。気候の冷涼な地域では必需品で、衣料品のほかにも遊牧民のテントや敷物をつくる際の素材となる。
- ★ゲリラ (p.136) 大軍団士の決戦を避けて小規模な部隊で行動し、奇襲や破壊工作などをおこなう軍隊、またその戦法をいう。
- ★権益 (p.76,83,85,96) 権利と利益のこと。国際政治では、ある国が他の国から獲得した特権や租借地などを指して用いられることが多い。

本文中の★マークの用語は巻末で解説しています。

内容解説資料  
p.12～13参照

# 歴史総合

- ④指導書のご案内
- ⑤教材のご案内

## ④指導書

### ・教師用指導書 授業実践編

『歴史総合』 B5判 290頁(予定)

『現代の歴史総合』 B5判 256頁(予定)

『わたしたちの歴史』 B5判 390頁(予定)

### ・教師用指導書 研究編

B5判 400頁(予定)

詳しくは「**内容解説資料**」をご参照ください



#### 教師用指導書 付属データ集

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| ①教科書紙面PDF       | ⑥準拠テスト例word |
| ②指導書紙面PDF       | ⑦準拠ノートPDF   |
| ③教科書本文word      | ⑧年間指導計画例    |
| ④教科書掲載地図・図版jpeg | ⑨評価基準       |
| ⑤授業用スライドppt     |             |

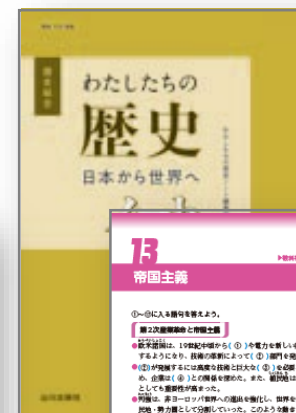
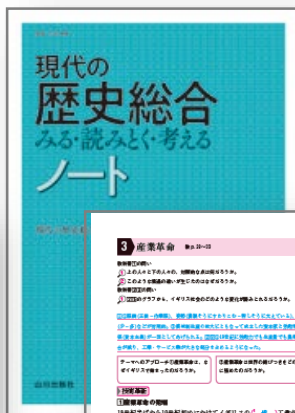
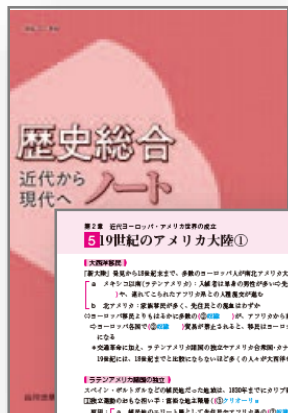
※『現代の歴史総合』『わたしたちの歴史』には  
⑤授業用スライドに対応したワークシートも付きます。

# ⑤ 準拠ノート

『歴史総合』 B5判 176頁(予定) 880円(税込)

『現代の歴史総合』 B5判 136頁(予定) 770円(税込)

『わたしたちの歴史』 B5判 144頁(予定) 770円(税込)



**5] 9世紀のアメリカ大陸①**

【大西探検記】  
 1. 大西探検記の経緯  
 2. 大西探検記の意義

【大西探検記の経緯】  
 1. 大西探検記の経緯  
 2. 大西探検記の意義

【大西探検記の意義】  
 1. 大西探検記の意義  
 2. 大西探検記の意義

**3] 産業革命 ①**

【産業革命の経緯】  
 1. 産業革命の経緯  
 2. 産業革命の意義

【産業革命の意義】  
 1. 産業革命の意義  
 2. 産業革命の意義

**下 帝国主義**

①-④に入る語を答えよ。  
 ① 国力を押しつける力  
 ② 国力を押しつける力  
 ③ 国力を押しつける力  
 ④ 国力を押しつける力

【帝国主義の経緯】  
 1. 帝国主義の経緯  
 2. 帝国主義の意義

【帝国主義の意義】  
 1. 帝国主義の意義  
 2. 帝国主義の意義

詳しくは「内容解説資料」をご参照ください

⑤ 一般販売品

※書店でも販売いたします。

『歴史総合 用語と解説集』

四六判 260頁(予定)

書籍990円(税込)

アプリ付き版1,650円(税込)



『歴史総合 要点チェック』

B5判 72頁(予定) 660円(税込)

第5章 第一次世界大戦と大衆社会

第5章 1 第一次世界大戦とロシア革命

【バルカン半島での対立】

- ① ヨーロッパの火薬庫
- ② バルカン同盟
- ③ オスマン帝国
- ④ サライエヴォ
- ⑤ 第一次世界大戦
- ⑥ ドイツ
- ⑦ イタリア
- ⑧ 産業革命
- ⑨ 総力戦
- ⑩ 中国
- ⑪ 青島
- ⑫ 二十一条案の要求
- ⑬ 漢冶萍公司

□ 1. 20世紀初頭、列強の二極化が進み、協商国と同盟国の対立が深まった。対立の焦点となったバルカン半島は「(①).....」と呼ばれた。

□ 2. 1912年、ロシアはセルビアやブルガリアなどの諸国と(②).....)をつくり、(③).....)と戦って勝利した(第1次バルカン戦争)。しかし翌年、同盟諸国間の戦争(第2次バルカン戦争)が生じると、敗北したブルガリアはドイツ・オーストリアに接近した。

【第一次世界大戦の開戦】

□ 3. 1914年6月、(④).....)でオーストリアの帝位継承者夫妻がセルビア人に暗殺されたのをきっかけにオーストリアがセルビアに宣戦を布告し、ドイツがロシアに宣戦を布告した。フランスやイギリスもつぎつぎと参戦し、(⑤).....)となった。

□ 4. 西部戦線では塹壕戦となり、膠着状態を打破するために、毒ガス・戦車・飛行機といった新兵器が開発・投入された。東部戦線では(⑥).....)軍はロシア領ポーランドに侵入したが、決定的な打撃を与えられなかった。

□ 5. 戦争は同盟国側と協商国(連合国)側に分かれて戦われた。オスマン帝国も同盟国側に加わった。オーストリアと対立する(⑦).....)は三国同盟にもかかわらず当初は中立であったが、1915年に連合国側で参戦した。同年にはブルガリアが同盟国側に加わった。

【総力戦】

□ 6. 第一次世界大戦は、第2次(⑧).....)によって発達した各国の産業力そして、政府が経済活動を統制し、く巻き込む(⑨).....)となった。



『歴史総合問題集』

B5判 128頁+解答16頁 990円(税込)

歴史総合 問題集

日本史・世界史に分かれていた歴史学習の内容を、一つの科目で学ぶことで、近代以降の人びとがたどった道を考える。歴史総合に関する諸事象を素材に、学習に必要な知識を確認する。

2022年4月からスタートする 高等学校の新科目「歴史総合」対応の問題集。

◆ 大衆社会の形成と社会運動の広がり①

大衆社会はどのように形成されたのだろうか。また、大衆社会が形成されたことで、人びとの暮らしや行動はどのように変化したのだろうか。

【1】大衆の政治参加について、次の先生と生徒の会話文を読み、問1～問5に答えなさい。

アキラ：①第一次世界大戦は、各国の国内政治にどのような影響を与えましたか。

先生：欧米諸国では参政権の拡大や労働者の権利の要求が高まりました。イギリスでは、1928年に男女普通選挙が実現し、29年には(ア).....)が初めて第一党となりました。

ケンジ：②一般の人びとが政治に関わり始めたんですね。社会主義も影響力を増したのですか？

先生：大戦中、ロシアでは革命が起き、(イ).....)が発足し、ドイツでは社会民主主義を中心に(ウ).....)が樹立されました。

マイコ：日本ではどのような変化があったのでしょうか？

アキラ：右のグラフを見ると、日本では(エ).....)ということが読みとれますね。

先生：日本でも友愛会が(エ).....)と改称して過激化するなど、社会主義運動が活発化しました。このように民衆の運動が広がりを見せる一方で、ドイツや(オ).....)では、講和条約の内容や戦後の経済状況に不満を抱えた大衆に訴えかけて、③激進的な指導者や国家の方で国民を統合することが目指され始めました。

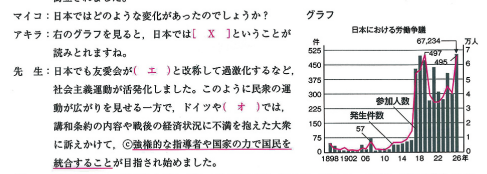
問1 下線部①について述べた文として誤っているものを、次の①～④から一つ選び、番号で答えなさい。

① イギリスやフランスは植民地から資金や兵力を動員した。  
② 日本はドイツを中心とする同盟国側として参戦した。  
③ 毒ガスや戦車、飛行機などの新兵器が実戦で用いられた。  
④ ドイツの間には講和条約としてヴェルサイユ条約が結ばれた。

問2 (ア)～(オ)に入る語句を、次の①～④から一つずつ選び、番号で答えなさい。

① イタリア ② ヴァイマル共和国 ③ ソ連 ④ 日本労働総同盟 ⑤ 労働党

問3 下線部②について、第一次世界大戦前後の日本で、自由主義・民主主義的な風潮が高まったことを何と呼ぶか答えなさい。



詳しくは「歴史総合補助教材目録」をご参照ください

# ⑤採用品

※書店店頭での販売はいたしません。

## 『歴史総合 資料集』

AB判 56頁(予定) 440円(税込)



## 『地図&年表で整理 歴史総合』

AB判 40頁(予定)

440円(税込)

**社会・労働運動の進展と大衆の政治参加** 27

1 第一次世界大戦と社会運動の進展

2 労働運動の発展

3 大衆の政治参加

4 労働運動の進展

5 労働運動の進展

6 労働運動の進展

7 労働運動の進展

8 労働運動の進展

9 労働運動の進展

10 労働運動の進展

11 労働運動の進展

12 労働運動の進展

13 労働運動の進展

14 労働運動の進展

15 労働運動の進展

16 労働運動の進展

17 労働運動の進展

18 労働運動の進展

19 労働運動の進展

20 労働運動の進展

21 労働運動の進展

22 労働運動の進展

23 労働運動の進展

24 労働運動の進展

25 労働運動の進展

26 労働運動の進展

27 労働運動の進展

**9 第二次世界大戦 (1935 ~ 45)**

ドイツ	ヨーロッパ戦線	中国・東南アジア	太平洋戦線	日本	内閣
1939 9月 ポーランド侵攻	8月 独ソ不可侵条約	1937 抗日民族統一戦線樹立	日中戦争	1937 ① 支那事変	近衛
1940 4月 ノルウェー侵攻	8月 独ソ不可侵条約	1940 汪兆銘の国民政府樹立	日中戦争	1938 日独伊三国同盟	平沼
6月 仏、降伏	8月 独ソ不可侵条約	9月 ① 宣戦布告	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1939 日本、南支那占領	米内
1941 6月 独ソ戦開始	3月 米、武器貸与法成立	9月 ② 宣戦布告	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1939 日独伊三国同盟	近衛
6月 独ソ戦開始	8月 ① 天雷(炸)	12月 ③ 宣戦布告	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1940 日本、北支那占領	近衛
1943 2月 スターリングラード敗退	12月 太平洋戦争終結	1942 9月 イタリア、無条件降伏	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1940 日本、北支那占領	近衛
1944 6月 ノルマンディー上陸作戦	1942 9月 イタリア、無条件降伏	1943 11月 カイロ宣言 (米・英・中)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
8月 パリ解放	1943 9月 イタリア、無条件降伏	1943 11月 カイロ宣言 (米・英・中)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
1945 5月 ドイツ、無条件降伏	1945 2月 ① 聖ルカ(米・英・ソ)会談	7月 ボツダム宣言 (米・英・中)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ② 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ① 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ③ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ② 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ④ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ③ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑤ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ④ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑥ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑤ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑦ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑥ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑧ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑦ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑨ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑧ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑩ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑨ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑪ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑩ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑫ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑪ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑬ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑫ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑭ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑬ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑮ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑭ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑯ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑮ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑰ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑯ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑱ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑰ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑲ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑱ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ⑳ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ⑲ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉑ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉑ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉒ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉒ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉓ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉓ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉔ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉔ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉕ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉕ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉖ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉖ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉗ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉗ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉘ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉘ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉙ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉙ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉚ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉚ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉛ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉛ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉜ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉜ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉝ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉝ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉞ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉞ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㉟ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㉟ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊱ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊱ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊲ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊲ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊳ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊳ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊴ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊴ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊵ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊵ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊶ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊶ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊷ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊷ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊸ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊸ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊹ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊹ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛
	1945 2月 ㊺ 聖ルカ(米・英・ソ)会談	8月 ㊺ 天雷(炸)	太平洋戦争 (アジア太平洋戦争)	1941 日本、北支那占領	近衛

第二次世界大戦中のヨーロッパ

太平洋戦争

詳しくは「歴史総合補助教材目録」をご参照ください

# ⑤ デジタル教科書

指導者用 55,000円(校内フリー)  
 学習者用 1,100円(1人1アカウント)  
 インストール版／クラウド版あり

『歴史総合』(指導者用／学習者用)

『現代の歴史総合』(指導者用／学習者用)

『わたしたちの歴史』(指導者用／学習者用)



〈指導者用〉主な機能

- ①ズーム表示
- ②Q&A
- ③図版の拡大表示
- ④道具
- ⑤動画再生
- ⑥地図アプリ
- ⑦グラフアプリ

〈学習者用〉主な機能

- ①ペン＆マーカー／消しゴム
- ②ページ遷移／用語検索
- ③ふせん

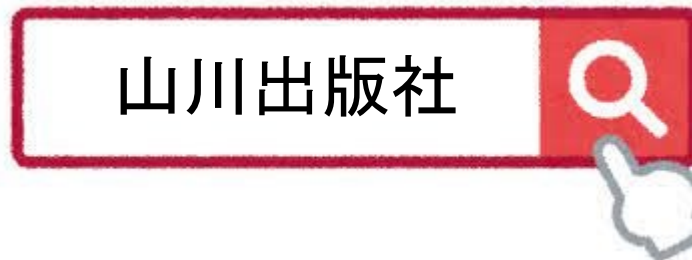
詳しくは「**内容解説資料**」をご参照ください

※画像は『歴史総合』の一例です。

HPのご紹介

# 新しい**歴史教育**のスタートとともに

山川出版社HPに「歴史総合特設サイト」がございます。  
教科書の紹介動画もありますので、ぜひご覧ください。



山川出版社

こちらからも  
特設サイトへ！